


事業番号	100301	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	県産材振興対策事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
		実施期間	H14～	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進				
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 県産材を活用した木造木質化・木製品設置の支援、県産材の付加価値向上・普及啓発等の取組を通じ県産材の利用促進 各地域の実情に応じた県産材の有効活用の仕組みづくりを支援し、林業の再生と気候変動防止に貢献	
	【これまでの取組】 民間施設・公共施設・子どもの居場所における木造木質化・調度品等設置支援、県産材の付加価値向上・販路拡大・普及啓発、薪・ペレット等の木質バイオマス利用の促進	
令和2年度 点検結果 現状分析	課 題	今後の方向性
	住宅着工戸数の減少に伴い製材品出荷量の減少が見込まれることから、商業施設等の非住宅分野における県産材の利活用を促進することが必要である。 また、令和2年度、新たに2箇所の木質バイオマス発電所が稼働するなど、低質材需要の大幅な増加への対応が必要となっている。	非住宅分野への県産材の利活用を促進や、木材品質の全国統一基準であるJAS製品の供給体制の整備により、Withコロナ・Afterコロナに対応した県産材製品の 需要の創出 を図る。 ・薪やペレットなど、従来の木質バイオマス利用に加え、発電用木質バイオマスの需要の安定供給に向けた、需要者と供給者による需給調整会議や、松くい虫被害対策による被害材等を発電用原木としての有効活用を図り、 ゼロカーボン を目指した木質バイオマスの利用を促進する。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Withコロナ・Afterコロナに対応した県産材製品の需要の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設など非住宅分野への新たな需要拡大 ・県産材施工コーディネーターによる都市圏等への販路開拓の強化 ・JAS製品の供給体制整備を支援し、製品信頼性向上による販売量の増加 ・大径材を活用した県産材製品の開発と普及拡大 ✓ ゼロカーボンを目指した木質バイオマスの利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・薪、木質ペレットの利用拡大のための支援と普及啓発活動 	 <p>病院待合室の木質化</p>
	 <p>松本市四賀地区に設置された薪ステーション</p>	 <p>教育施設の木造化</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	素材(木材)生産量(千m ³)	540	564	↑	564	→	775	0	0
2	県内の製材品出荷量(千m ³)	96	96	→	96	→	151	51,057	171,574
3	木質バイオマス生産量(千m ³)	55	75	↑	155	↑	200	-6,276	71,300
4								44,781	242,874
5								8,200	8,433
						決算額(B)		42,066	
						職員数(人)		10.9	14.1
									111,096
									—
									111,096
									—
									8,226
									—

成果指標設定理由

- ①県産材の利用促進の効果を評価するための指標：総合5か年計画の目標値を踏まえ設定
- ②県産材の利用促進の効果を評価するための指標：総合5か年計画の目標値を踏まえ設定
- ③木質バイオマスの利用促進の効果を評価するための指標：総合5か年計画の目標値を踏まえ設定

事業名	県産材振興対策事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	-----------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	567 千円	400 千円	要求 400 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	直接	木材のCO2固定効果が地球温暖化防止に貢献することをPRするため、県産材住宅等のCO2固定量の認証(500 t-CO2)と制度の普及啓発を行う。	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	地消地産による木の香る暮らしづくり事業	32,300 千円	93,575 千円	要求 88,250 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	「子どもの居場所」及び民間施設木質化等支援	補助金	・「子どもの居場所」の木造・木質化(6施設)及びおもちゃ・調度品の設置(30施設) ・民間施設の木質化・調度品等設置(11施設)	
2	木工体験活動支援	補助金	・子どもが行う木工体験活動(32件+団体活動1者)	
3	県有施設木質化経費	直接	・県有施設の木質化(3施設)	
4	県産材公共サイン製作支援	補助金	・公共サインの木質化(117枚)	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	薪によるエネルギーの地消地産事業	3,750 千円	3,750 千円	要求 3,750 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	薪流通システム構築支援	補助金	身近な森林資源である薪の利用促進を図るため、県内におけるコンパクトな薪流通システムの構築を支援(2地域)	

事業名	県産材振興対策事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	-----------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
4	信州の木と住まいの総合対策事業	1,950 千円	2,210 千円	要求 726 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	普及啓発経費支援	補助金	県産材の利用促進を図るため、研修会・セミナー(2回)、展示会出展(1回)等を支援	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
5	県産材活用加速化推進事業	3,590 千円	8,203 千円	要求 9,580 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	森林認証材等普及啓発支援	補助金	・オリパラ選手村に使用した森林認証材のレガシーのデザイン経費等を支援(1市町村)	
2	県産材製品供給体制整備及び販路拡大支援	委託 補助金 直接	・大径材の利用拡大に必要な工務店等への普及啓発(委託) ・JAS取得に向けた診断助言及び取得経費支援(新規2社) ・県産材製品コーディネーターの配置(直接)	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
6	木質バイオマス循環利用普及促進事業	8,000 千円	8,000 千円	要求 8,390 予算案 - 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	個人向けペレットストーブ導入支援と普及啓発	補助金	木質バイオマスの利用拡大を図るため、県民のペレットストーブ購入(100台)支援及び普及啓発	